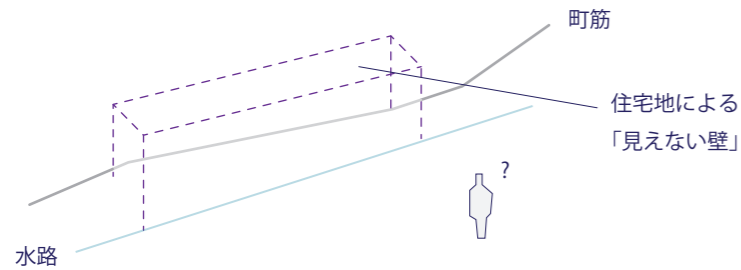


nowadays

町筋に対して垂直方向の動きが少ない

- 子供達の教育や遊びなどの活動の場と、地域の人々の交流の場どうしの繋がりがなく、それぞれの空間が独立している状態
- 子供達が、放課後に集まる場所（右図のピンクの建物）が固定されているため、世代を超えた地域の交流や新たな場所の発見が見られない
- 子供達や地域の人々が歩く道が決まっているため、町民の動線が広がらない
- 町筋から南側、水路から北側のエリアが住宅地となっており、地域の人々が集まれる場所がないため、町筋の北と南の間に見えない壁が出来ている



空間のバリエーションが少ない

- このエリアだけでも児童館が2つあり、お互いにうまく機能していないなど、空間の豊かさに欠けるため遊び場の固定化が進んでいる。

以上の問題を直接的と間接的の両方で解決していく

